

高齢者介護における現状と課題、 未来予測について

社会福祉法人 青森社会福祉振興団
理事長 中山 辰巳
2023年 6月 2日(金)
介護ロボットメーカー連絡会議

1

介護をとりまく現状の状況

① 介護・調理人材の枯渇

➡ グローバル化(多様性社会)

② 少子高齢化社会

➡ 要介護高齢者の激増

③ 介護保険財政のひっ迫

➡ 負担と給付の大幅な見直し



2

2025年・40年問題



団塊の世代とははじめての自己決定世代である

最大のミスマッチ時代

- ・最大のクレーマー世代へ
- ・介護人材Z世代へ
- ・移民新時代へ？



- ・ロボット・ICT導入の促進
- ・新しい介護の創造（日本人＋I C T＋海外人材）



3

現在導入している機器

① 介護記録システム

② 見守りセンサー（非接触型ICT機器）

③ 労務管理システム（顔認証ICT機器）

④ ICT調理機器（再加熱機器）



4

そのねらい

① ICT機器を使った高品質の

新しい自立支援介護の創造

② 介護の労働生産性向上

➡ ゆとりのある介護の実現

③ 介護業務の標準化を進める

➡ シェアリングケア(30分単位)の導入

④ 働きやすい職場をつくる

➡ 働き方改革



5

これからのロボット・ICT開発について

① 介護現場

- ・介護ロボット・ICT(センサー系)機器の標準化
- ・介護のロボット・ICTの開発は周辺業務から本業務へ

② 介護業務分野だけではなく、調理業務やバックヤード業務のDX化。

- ・調理人材不足による新たなICT調理機器開発
- ・家族面会支援
- ・バックヤード業務(運搬・清掃)のロボット化



6

これからのロボット・ICT開発について

③ 事務管理

- ・人事・労務管理及び経理業務のDX化
- ・RPA (Robotic Process Automation) の導入・促進
ルーチンワークの自動化・効率化

④ 最適化自動化

- ・介護記録入力の省力化、自動化
- ・データベース・AIによるケアプランの自動作成
- ・データベース・AIによる介護提供メニューの最適化

7

これからのロボット・ICT開発について

⑤ 介護DX人材の確保・育成

- ・DX人材配置加算（介護報酬）への算定

⑥ 外国人スタッフとの協働

外国人材の採用・定着化のカギは
ICT・ロボット化にかかっている。

- ・介護・調理人材のグローバル化による
言語別介護業務翻訳スマートフォン
- ・VRを使った外国人スタッフへの教育・研修



8

ご清聴ありがとうございました。

